

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

令和 7 年度事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人里山保全竹活用百人会

理事長 井上 隆

1 事業の成果 以下の事業を実施しました

当団体は里山環境保全を第一に取り組んでいるため大きな営利を目的としていませんが、事業を行っていく上での必要な消耗品等を準備するために竹製品等の製造・販売を行う活動も取り入れ、今年度事業も無事終了することができました。また、竹田市からの交付金（里山環境整備事業）と里山再生事業の受注事業費を受けることが出来、作業員（3名）を雇用し長期間にわたり里山整備活動や竹楽事業に大きな役割を果たしてもらったことが出来ました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (円)
『もみじフェスタた けた竹灯籠「竹楽」』 のイベント事業	●城下町界隈に約 2 万本の竹灯籠を 並べ幻想的な雰囲気演出する竹 田市の秋のイベント 第 26 回竹楽通常開催 過去最高の人出を記録 人口減少や里山環境の変化が進 む中、里山保全活動、竹林整備、森 林教室、竹楽開催などを通じて地域 活性化に取り組みました。 開催にあたり、伐竹作業から竹灯 籠の加工・搬出作業、開催期間中の 運営、終了後の撤去・片付け作業ま で、延べ 1,000 人を超えるボランテ ィアの皆様にご協力をいただきました。 おかげをもちまして、大きな 事故やトラブルもなく、成功裏に終 了することができましたことに心 から感謝申し上げます。 また、物価高騰の影響により、シ ャトルバスの運賃を改定し、往復 500 円（片道利用も 500 円）としま した。あわせて乗車方法も見直し、 乗車前に往復料金を支払われた方 にリストバンドを装着していただ く方式を導入しました。このこと により、乗車確認が円滑となりシャ トルバスの回転率向上につながり ました。新たな運営方式の導入に際 し、料金徴収・リストバンド配布・ 確認業務など、多くの市職員の皆様 に多大なご協力をいただきました ことに深く感謝申し上げます。 さらに、スローフード屋台村の運 営や、ミニ竹灯籠などの物産販売に つきましてもボランティアの皆様 のご協力をいただき、来場者サービ スの向上と自主財源の確保に寄与 することができました。 竹楽は、里山保全活動によって伐 竹された竹を有効活用し、多くの市 民・団体・ボランティアの皆様の支 えによって開催されるイベントと して、地域の活性化と竹林整備の推	11 月 21・22 23	城下町界隈	事業従事 者延べ 約 500 名	地域住民 不特定多数	7,590,662

	進に大きく貢献することができております。 ・約 20,000 本の竹灯籠制作 ・伐竹作業 (年 2 回) ・竹加工作業及びオブジェ製作 ・事前搬出及び会場設営 ・シャトルバス運行及び交通規制 ・街角コンサート実施 ・大学生・高校生・中学生との連携事業 ・SNS 及び各種媒体による情報発信					
竹屋竹炭を素材にした商品開発・販売事業	・レーザー刻印機を活用した商品試作 ・竹炭・ミニ竹灯籠の商品化 ・竹のカトラリー製作 竹林整備により発生する竹材や竹炭を有効活用し、地域資源の循環利用を目的とした商品開発及び販売事業に取り組みました。 レーザー刻印機を活用した竹製のカトラリーなどオリジナル商品の試作・研究を実施しました。また、竹炭として再利用することで資源循環型の取り組みを推進しました。	通年	竹田市植木 (竹楽作業所)	事業従事者 3 名	不特定多数	2,290,956
環境保全に関する研究と提案事業	・森林環境税事業 親子森林教室 (夏 8 月 23 日・冬 12 月 20 日) 夏は緩木神社周辺において、植物観察、竹を使った工作、そうめん流し、竹棒パンづくりなどを実施し、自然とのふれあいを通じて森林や里山への理解を深めました。 ・里山環境整備事業 竹田市の補助金を活用し、従業員を 4 か月間雇用して竹林整備や里山保全活動を実施しました。竹楽事業に必要な竹材の確保や放置竹林の整備を行うとともに、良好な里山環境の維持・保全に努めました。 ・市内小学校への出前授業 市内小学校 (竹田小学校 4 年生・豊岡小学校 5 年生) への出前授業を行い、竹や森林の役割、里山保全の大切さについて学ぶ機会を提供し、次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進に努めました。 ・里山保全館管理運営 竹楽の 3 日間、城下町交流プラザ多目的ホールにおいて里山保全館を開設し、竹や竹加工作業等に参加されたボランティアの皆様、竹を活用したフィギュアなどを紹介展示しました。来場者に対し、竹の有効活用や里山保全活動への理解を深める機会を提供するとともに、竹楽を支える地域活動の P R に努めました。	8/23・12/20 9 月～12 月 10/24 11/21～23	竹田市九重野・竹田町 竹田市内 竹田市植木 竹田町	事業従事者 19 人 3 人 3 人 3 人	市内外 32 人 市内 33 人 不特定多数	188,280 1,694,915

各種媒体による広報 と情報発信事業	Facebook、Instagram、チラシ、 ポスター等を活用し、竹楽をはじめ とする里山保全活動や各種事業の 情報発信に努めました。また、竹楽 順路マップのデジタル版を活用す ることによって来場者の利便性向上を図 るとともに、活動の認知度向上と情 報発信の充実に取り組みました。	通年		約6名	不特定多数	625,747
①～④に関する文化 振興事業	第26回たけた竹灯籠「竹楽」の 開催にあわせ、文化振興事業を実施 しました。オープニングセレモニー では、多くの来場者を迎える中、ラ ウラウのお二方による竹楽イメー ジソングをご披露いただき開幕を 彩り、会場全体が歓迎ムードに包ま れました。また、地域の学生や関係 団体の協力を得ながら来場者との 交流を深める機会となりました。 さらに、学生ボランティアの皆様 の協力により、竹楽を通じた文化振 興と地域活性化に寄与しました。	11/21～ 23	竹田市竹田 豊音寺特設ス テージ	約3名	不特定多数	100,000
						12,490,560

(法第 28 条第 1 項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」

令和 7 年度 活動計算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人里山保全竹活用百人会（単位：円）

科 目	金 額		
I 経常利益			
1. 受取会費		228,000	
正会員受取会費	228,000		
賛助会員受取会費	0		
2. 受取寄附金		223,000	
受取寄附金	223,000		
3. 受取助成金等		5,151,137	
受取民間助成金	140,000		
受取補助金	5,011,137		
4. 事業収益		4,475,986	
売上高	4,475,986		
5. その他収益		4,142,678	
受取利息	7,632		
委託金	2,667,800		
雑収益	1,467,246		
繰入金	0		
経常収益計			14,220,801
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	3,831,900		
給料手当	3,721,900		
福利厚生費	110,000		
(2) その他経費	8,658,660		
売上原価	0		
会議費	46,355		
委託事業費	355,000		
諸謝金	278,676		
宣伝広告費	625,747		
通信運搬費	71,773		
備品消耗品費	0		
旅費交通費	0		
事務消耗品費	24,931		
作業消耗品費	2,709,456		
修繕費	9,570		

食料費	361,017		
水道光熱費	49,996		
賃借料	3,614,368		
保険料	122,618		
車両費	180,380		
雑費	100,413		
接待交際費	9,360		
仮設工事費	99,000		
租税公課	0		
事業費計		12,490,560	
2. 管理費			
売上原価	0		
諸謝金	55,000		
印刷製本費	0		
会議費	71,300		
車両費	0		
通信運搬費	50,580		
事務消耗品費	80,175		
備品消耗品費	0		
作業消耗品費	0		
旅費	7,510		
修繕費	0		
食糧費	0		
水道光熱費	0		
賃借料	25,718		
接待交際費	41,521		
保険料	0		
租税公課	6,000		
負担金	0		
委託金	150,000		
雑費	0	487,804	
管理費計			
経常費用計			12,978,364
当期経常増減額			1,242,437
税引前当期正味財産増減額			1,242,437
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			1,171,437
前期繰越正味財産額			6,100,123
次期繰越正味財産額			7,271,560

(法第 28 条第 1 項「前事業年度の計算書類」(貸借対照表))

貸借対照表

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	1,316,907	未払金	93,164
商品	4,800	預り金	5,420
未収入金	6,048,437		
		負債の部合計	98,584
		純資産の部	
		当期純損益	1,171,437
		前年度繰越利益剰余金	6,100,123
		純資産の部合計	7,271,560
資産の部合計	7,370,144	負債及び純資産合計	7,370,144

(法第 28 条第 1 項「前事業年度の計算書類」(財産目録))

令和 7 年度 財産目録

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	83,166		
大分銀行普通預金	1,056,389		
豊和銀行普通預金	87,181		
大分県信用組合普通預金	83,171		
郵便局当座預金	7,000		
商品在庫	4,800		
未収入金	6,048,437		
流動資産合計		7,370,144	
2. 固定資産		0	
資産合計			7,370,144
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	93,164		
預り金	5,420		
流動負債合計		98,584	
2. 固定負債		0	
負債合計			98,584
正味財産			7,271,560
負債及び正味財産合計			7,370,144